

参加
無料

生産性向上ロボット 導入・活用セミナー

近年、人手不足の深刻化や生産性向上への期待から、道内中小企業において産業用ロボットに対する関心が一層高まっています。こうした中、工業試験場では、食品加工企業に対するロボット導入の担い手（Sler）を育成するため、場内に“食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）”を開設しました。

本セミナーでは、道総研でのロボットに関する取り組み事例紹介の後、金沢大学の渡辺教授を招き、柔軟物の把持や対象物の高速把持が可能な様々な種類のロボットハンドについての最新の研究事例についてご紹介いただきます。是非、産業用ロボットの最新技術動向の情報収集の場としてご活用いただけますようご案内いたします。

なお、このセミナーは、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として北海道から委託を受けて実施しています。ご参加いただいた企業の皆様には、セミナー参加後の雇用面での取組や雇用実績などの調査協力をお願いしております。

・日時 令和4年1月31日（月）13:30～15:30

・形式 オンライン研修（Zoomウェビナー使用）

・内容

13:30～13:40 「工業試験場のロボットに関する取組みについて」

工業試験場 産業システム部 井川 久

13:40～13:50 「3Dプリンタ製の型によるソフトロボットハンドの製造」

工業試験場 産業システム部 川島 圭太

13:50～15:20 「硬さと柔らかさを活かした汎用性を高める

ロボットハンドの設計の最前線」

金沢大学 理工研究域 フロンティア工学系

人間・機械創造研究室 教授 渡辺 哲陽 氏

15:20～15:30 質疑応答

・主催 （地独）北海道立総合研究機構 工業試験場／ものづくり支援センター

・協力 北海道ロボット研究会

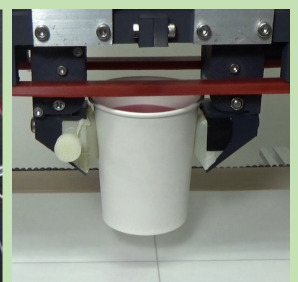
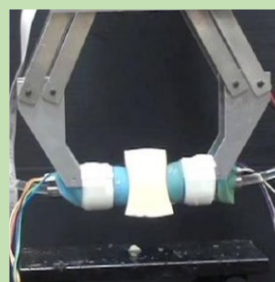
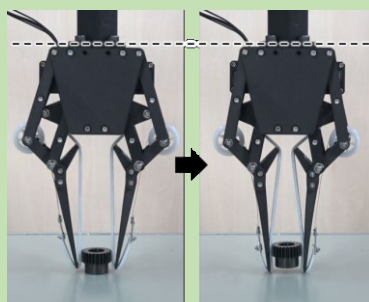
・対象者 道内製造業者、システムインテグレーター企業、他

・申込 WEB申込フォーム(<https://forms.gle/3Sc53Zyy9gcWdwjJ6>)もしくは下部QRコードからの登録、あるいは裏面申込書を申し込み先までFAX又はE-Mailでお送りください。

締切：1月26日（水）まで



申込は
こちら！



参加申込書

(地独)北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター 中村 行

FAXまたはメールでお申し込みください。 申込締切日：1/26（水）

- ◆FAXでお申し込みの場合…下記に記載の上、このままFAXしてください。
【FAX番号：011-726-4057】
- ◆メールでお申し込みの場合…参加者の企業名・氏名・メールアドレスを記載したメールをお送りください。
【E-mailアドレス：kaihatsu@hro.or.jp】
- ◆参加者のメールアドレスは、代表者のみの記載でも可といたします。
- ◆Web開催となりますので、メールアドレスをご記入いただいた方に、後日、ミーティングID等をお送りいたします。

企業名 (機関名)			業種	
			所属	
所在地	〒			
TEL			FAX	
参加者	職	氏名 (よみがな)	E-mail (集まって聴講する場合、代表者のみでも可)	

※ 申込情報は本セミナーの運営に関する組織内情報として使用いたします。

- ◆申し込み・お問い合わせ先
北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター（担当：中村・高橋）
電話：011-747-2324（直通） / E-mail：kaihatsu@hro.or.jp FAX：011-726-4057

食品ロボット実証ラボ（ROBOLABO）について

- ◆経産省「地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業」（H29補正、総事業費8,500万円）を活用し、当場内に“食品ロボット実証ラボ(ROBOLABO)”（通称：ロボラボ）を新設。
- ◆本道初の「ロボットSier（ロボットシステムインテグレーター）の育成拠点」として各種ロボットを用いた実践的な技術習得を支援など、中小企業のロボット活用に係る供給側・需要側の双方に対する様々な支援拠点として、食品分野をはじめ道内製造業の生産性向上に寄与。

